西暦 2026 年 10 月 20 日

# 膵頭十二指腸切除術を受けた患者さんへ

【当院におけるロボット支援下膵頭十二指腸切除術と開腹手術の術後短期成績の比較研究へのご協力のお願い】

## 1. 研究の対象

2023 年 1 月 1 日～2026 年 8 月 31 日に膵頭十二指腸切除術を受けた患者さん

## 2. 研究目的・方法・期間

上記の期間に当院にて膵頭十二指腸切除術を受けた患者さんを対象とし、**ロボット支援下膵頭十二指腸切除術の短期成績が、開腹膵頭十二指腸切除術の術後成績と比べ劣っていないこと**を調べることを主な目的としております。2023 年 1 月から 2026 年 8 月までに当院で施行した膵頭十二指腸切除術を開腹手術群とロボット手術群に分け、電子カルテから得られる情報を元に術後の短期成績を比較します。

研究の結果、特許権などの知的財産権が生じる可能性もございますが、データを使用させていただいた患者さんには帰属しません。

研究期間：2026 年 11 月 1 日～2027 年 4 月 30 日

この研究は、松山赤十字病院の医療倫理委員会にて審査及び承認され、病院長の許可を受けて実施するものです。また、保険診療で行われている内容の情報を収集するもので、特定の企業・団体等から支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、研究に関するご質問や相談等ありましたらお問合せください。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

検査データ、診療記録等を対象とします。

医療サービスの提供時に取得した試料・情報及び過去に研究を目的に取得した試料・情報を利用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、試料・情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

## 4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供は行いません。

## 5. 個人情報の取扱い

利用するデータは、匿名化または符号や番号を付することを行い、個人が特定され

ないようにします。

この研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはありません。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方はご連絡ください。

## 6. 研究組織

| | |
|---|---|
| 研究代表機関(試料・情報の管理) | 日本赤十字社　松山赤十字病院 |
| 研究代表者 | 外科　第２外科部長　皆川亮介 |
| 研究責任者 | 同上 |
| 研究分担者 | |

## 7. お問合せ先

今回の試料・情報の利用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので下記までご連絡ください。その場合でも今後の治療などに影響することはございません。

日本赤十字社　松山赤十字病院　外科　職名第２外科部長
研究責任者：皆川亮介
TEL：089-924-1111㈹　FAX：089-922-6892㈹